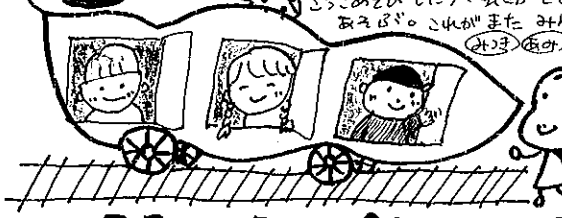
こびとのおうちえんLetter

令和8(2026)年5月7日発行　第177号

5月号



タラの芽とり。鉄塔のところまで全員で行く。タラの芽はのびていて時期が少しおそかったかな。こどもで興味あるのはみなとだけだった!! 高校ぐりでおとしたタラの芽を「ひろうぬー!」とやる気マンマン。私とみはぎとみなとが楽しんでる間、他のメンバーは、金鉄塔の草っ原でころがったり、走ったり、ごっこあそびしたり、虫さがしたりして盛り上がってた。カナヘビがいっぱいいてつかまえてあそぶ。これがまたみんな楽しくてもり上がってたな。「見たいった!」「こっちにいた!」って。みつき、あみ、なおとがつかまえてた。あみはカナヘビを愛でていたら、かまれてショック、いたい…とよげていた。いちかは「うさぎのうんち」と見つけてはおしえてくれる。おひるごはんでよしみさんが「こっち」でもってきてくれた。はじめて食べた!超美味〜。午後、きよひとがとったたけのこは、超大物。5.3kg!! おやつで出してもらったタラの芽の天ぷらは、とってもおいしくて、あーやっぱうまいねー♪ 春のものいっぱい、がうれしい4月だった。

5月のスタッフプラン

- のいちごつみ
- マテ貝ほり…5/15(金)

(※詳しくは、メールでおしらせしますね!)

29日(金)おべんとうの日

※おべんとうの準備をおねがいします!

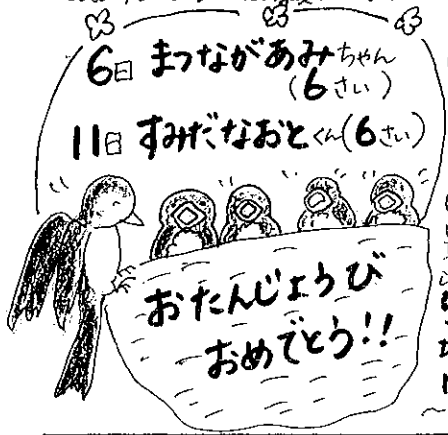
おむすびの日

5/12(火), 19(火), 26(火)

※おむすびよろしくお願いします!!

6日 まつながあみちゃん(6さい)

11日 すみだなおとくん(6さい)



4月はこんなことしました

- 神護寺にいく
- たけのこほり
- たけのこの下処理とゆで作業
- ふきとり、ふきの皮むき
- 藤の花のシロップ作り
- スミレ、レンゲの花の寒天作り
- タラの芽とり
- 用水路たんけん
- 大王様の木に行く
- スッポンとり
- モクズガニのワナをしかける
- カナヘビをつかまえる
- 文殊山・嘉納山にのぼる
- クワガタさがし
- つみき
- おうち作り(パチパチどうろの場所)
- ワラビとり
- お花つみ
- 工作
- えほん作り
- 鼓ヶ浦であそぶ
- 上関丸石の浜にいく
- 日向平のこいのぼりを見にいく
- イモりとり
- 虫とりさんぽ
- 山たんけん
- 手のぐでおえかき

など…

5月のペアレンツグループ

(参加される方は、ご連絡下さい。当日の朝に!)

子育ては自分育て。どんな「私」でいますか?「話す」こと「聴く」ことで、ふっと気づきが生まれたり、少し楽になったり。問題解決や悩みの除去にとらわれず、丁寧に自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらと思います。

聴き合うグループを軸に時には体験学習をまじえながら月1回行っています。参加おまちしています。

5/21(木) 13:00〜15:00

場所…もみじのいえ

内容…フィーリンググループ

〜自分のきもちを味わう時間。メンバーのきもちを聴き合う時間。〜

3/28(土)おうちえんの初期メンバー(現20才〜高2)が15人も集まった。高校を卒業した宙が、このタイミングで皆に呼びかけた。

今、思い出しても その光景に泣けてくる。お庭に来た瞬間に大きくなった彼らが居た。小さいころのおもかげを残しつつ、でかい美しい彼らを見て、夢の中にいるみたいだった。一緒に過ごす時間がうれしすぎた。それぞれ悩んだり壁にぶつかったり、そんな時も当然あって、そして、きっとそれは何度もこれからもありつつだろうけど、今、皆が、しっかりと自分をもって立っている姿が見てとれて、うれしく、愛しく、ここが帰る場所になっていることも、うれしかった。

この日、私は、当時の彼らの様子をつづった日誌を持参していた。当日の朝、思いつきで、15人のエピソードを言えたらおもしろいかなと思って。だけど、それをピックアップするのには時間が足りなかった。何人かのエピソードを言うにとどまり、少し申し訳なさも感じていた。

日誌には、こどもたちの様子だけではなく、そのときの私の悩みや感情を綴っていたので、オープンにはしてなかった。でも、今のこの人たちになら読んでもらってもいいかなと思って置いておいた。

それを読んだAが泣きながら、「よっこ――」と言って走ってきた。だきついてくる。号泣している。

「よっこ――ありがとう」「こんなに見ててもらっていたんだあ」「A、みつけたんよ。よっことカエルさがしした日のこと、書いてあったの。」(Aは、3/10におうちえんに来たとき、私とカエルさがししたことを今もはっきり覚えていると言っていた。)「A、ここにいたんだー、たしかにここにいたんだー」と言って泣いていた。

みんなが帰った後、Aと話した。

「自分にうそついたら、つらい。ここに帰ってきて、このままでいいんだ!と思った。『こうじゃないと思う』方へ行かなくちゃいけない空気を感じて、軸がブレるのを感じてた。自分はどこに向かえばいいのか?でも、行きたい方へ行く。よっこがすごく大切に関わってくれた、こんなに思ってくれてたんだと感じた。うれしい。」といって泣く。「ここは大人もキラキラしてる。」とも伝えてくれた。まっすぐでくったくのないマイペース。だけど、行動力のあるA。Aの今や思いを赤裸々に伝えてくれてうれしかった。

そして私も日誌を読み直して、Aとの時間に出会えた。たしかにあった。卒園生たちからも私は力をもらっている。

さて、今年度も9人との濃い時間の中で、また私も学ぶ日々を送ります。ドロくさい中にある尊さを追求する。

宮野嘉子

よっこのちょこっとおうちえん日誌〜日々のあやこれ〜

みつきが棒に草をまいてむすび、つりざおをつくっている。器用に草をむすんでる。これが工夫。工夫を何こもつけている。真剣でしずかな時間。午後、川でつりをしていた。私もつりざおつくった。

午前中は、のき下でおだんご作りをした。久しぶりだー。みつき、らく、みなと、きよひとも たくさんだんごを作ってる。まれいな形。つくっただんごの家族をすなの中に入れたりしてるから、だれかが立ってあるくたびに、ふんじゃうよー、と気が気でなかった。

だんご作るのたのしいね!

午後、私は、らく、あみ、みなとといもりとりに行った。あみ、みなとは、私は「イモりつり」をしようと言って、つりざおを作ったのをもってしった。みつきのあそびが、こういう形で広がった。しかし、イモりは釣れない…(だよな…)でも、真剣に釣ろうとしてるみなと、あみであった。結局、つりざおはおいといて手でとって愛でていた。午後、あんでい、部屋の前につくえを出してみお、いちか、まひるがおえかきしてる。そのそばでにわとりのおばあちゃんが近くを歩いてる。なんとも幸せでやさしい光景だったな。(4/10)

みなとがおひるごはんを食べるときに、食べずにいるから、よしみさんが食べてね、と促すと、今度は、がりがりと流しこむように食べて、またそれをそんなふうに食べないで、と声をかけられている。私は、みなとがちょっと調子のってる…変な甘え方してる…と思って遠くからギロッとみていた。目が合った。

そしたら、こわかったんだろう、急に泣きだした。そして「よっこ、だいきらい。どっか行って!」と号泣。ガーンショック…。ちょうどその前に今日のメニューのたけのこの木の芽あえが苦手な子は言ってねー と声かけながら、(めちゃくちゃおいしいけど、苦手な子は気軽に言って、と思って。)「いいんだぜー、だいきらいっておもてー♪」とこどもロックのうたをうたっていた。

おいー――!「よっこ、だいきらい」がきたー!! 言っていいって言ったけどー。しばらくは、みなとに近よるのやめよ…と思ってたけど、ごはんおわったらケロッとして話しかけてくる。何もなかったように。言われたときはがっくりしてたのだけど、あとになってみなとにしか言えんよな――と少しそのことがうれしくなった。言葉にとらわれないでいたい。

そして、やっぱり木の芽あえが苦手でそれが言えずにいたみたいだ。(4/22)

亀の池までさんぽ。みお、まひる、いちか。

モニョモニョでんしゃごっこして歩いてた。

「モニョ モニョ」「モニョ モニョ」

「モニョ モニョモニョ モニョ……」って

言いながら歩く。(4/10)

神護寺までのおさんぽのとき、野いちごの花がたくさんの笑いていた。花がの笑いてるとこをみつけるときよひとが「あたまにかいとこう!」と言う。

よっこ「うん、しっかりかいとって!また来ようね!」

きよひと「よっこもあたまにかいとけばいいよ」

ねー、そうできるとよいのだけど…。

みなとは、道中、ガードレールのへこみが気になる。「これってどうやってこうなったんかなぁ??」進みながら何か所も見つけては、「これ…なんでこうなったんかな…」興味がわくところって人それぞれなんだよなー。おもしろいなあー(4/7)

メダカとりでメダカが1匹とれた。みお

みお「せいとが1匹とれた」

よっこ「?」「あ!!」「めだかのがっこうのせいと!」

だーれがせいとかせんせいかー8のせいとだ!!

(めだかのがっこうの歌)メダカとりのこの場所を「めだかのがっこう」って口ずさんでいるもんね!(4/6)

―――――の様子をおしらせします。